

学部等経営

(1) 小学部

1 目標

「明るく元気に 生きる力を育む」

- (1) 身近な生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を習得し、活かそうとする力の育成【知識・技能】
- (2) 自分で考え、友達と一緒に解決していく力の育成【思考・判断・表現】
- (3) 自分から考え、学ぼうとする力の育成【人間性等】

2 小学部が大切にしている取り組み

(1) 教育活動

- ア 個別の指導計画に基づいた授業実践により、確かな学力の基礎となる力を育む指導を工夫する。
- イ 発達段階に応じたキャリア教育を進める。
- ウ 自立活動の指導に当たっては、児童個々の実態を知り、生きる力の基礎となる力を育む指導を工夫する。

(2) 進路支援

- ア 進路学習を通じた小学部卒業後の進路や将来の生活への意識を育成する。また、保護者に対して進路及び生活支援について情報を提供し、理解と協力を求める。

(3) 交流及び共同学習

- ア 交流校と連携し、関わり合いを通してお互いを理解する機会とする。

(4) 保護者との連携

- ア 個々の課題を明らかにし、保護者と連携して取り組む。

(5) 地域・福祉

- ア 療育センター及び医療・福祉機関との連携を図る。

3 主な年間行事と学習の様子

小学部は学校生活の基盤となる諸能力を培うため、一人一人の児童に合わせた身体作り、認知面の伸長などに力を入れている。さらに、興味関心を広げ、自分の意思を表現し、周囲（社会）との関わり、より豊かな生活を目指して取り組んでいる。

～ 年間行事 ～

- ともだちになるう会 ○児童会活動 ○運動会 ○小学校交流 ○校外学習 ○お話し会
- クリスマス会 ○卒業おめでとう会



「特別活動」ともだちタイム
ゲームや遊びをとおして、集団活動のルールを学びます。



「学部行事」クリスマス会
みんなで歌を歌ったり、サンタさんと一緒にゲームを楽しんだりします。この他、様々な季節行事に取り組みます。

(2) 中学部

1 目標

「学ぶ意欲を育て 生きる力を培う」

- (1) 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識・技能を習得し、活用する力の育成【知識・技能】
- (2) 自ら考え、仲間と協働し、課題に気付いて改善しようとする力の育成【思考・判断・表現】
- (3) 自ら進んで、学ぼうとする力の育成【学びに向かう力・人間性等】

2 中学部が大切にしている取り組み

(1) 教育活動

- ア 個別の指導計画に基づき、生徒の意欲を引き出し、確かな学力が身に付くよう充実した学習活動を展開する。
- イ キャリア教育の視点に立った学習活動を推進する。
- ウ 自立活動の指導に当たっては、生徒個々の実態把握に基づき、指導すべき課題を明確にし、指導目標・指導内容を定めていく。

(2) 進路支援

- ア 中学部卒業後の見通し及び進路先決定に向けた情報提供や場の設定をし、生徒が主体的に進路選択する力を育む。

(3) 交流及び共同学習

- ア 学校間、居住地校との交流及び共同学習を通して、同世代と意欲的に関わる気持ちを育て、相互理解を図る経験を広める。

(4) 保護者との連携

- ア 個別の課題を共に明確化し、課題解決の手立てを示し、評価を確認し合う等連携を図る。

(5) 地域・福祉

- ア 医療、福祉機関、地域との連携を密にする。

3 主な年間行事と学習の様子

中学部は、学校生活で身に付けた生活リズムや人、ものに関わる力を基に、社会生活に必要な様々な経験の拡大を図ることを目指し学習に取り組んでいる。また、生徒個々の可能性を伸ばし、社会自立に向けた生活力の向上に努めている。

～ 年間行事 ～

○生徒会活動（対面式・生徒総会・生徒会役員選挙・3年生を送る会）

○進路学習会

○中学校との交流

○校外学習

○食育学習会



進路学習

高等部授業体験や先輩に学ぶ会等の学習を通して、卒業後について考える学習に取り組んでいます。



体育祭「団体競技：ターゲットボッチャ」

赤組、青組に分かれ、個人競技と団体競技で競います。仲間と共に達成感や喜びを感じながら活動します。

(3) 高等部

1 目標

「生きる力を培い、社会の一員になるべく自立を目指す」

- (1) 自分の卒後に必要な基礎的・基本的な知識・技能を習得し、活用できる力の育成【知識・技能】
- (2) 自ら考え、仲間と協働し、課題を解決する力の育成【思考・判断・表現】
- (3) 自ら進んで考え、学ぼうとする力の育成【人間性等】

2 高等部が大切にしている取り組み

- (1) 教育活動
 - ア 個別の指導計画に基づき、確かな学力を付ける学習活動の展開
 - イ キャリア教育の視点に立った学習活動を推進
 - ウ 個々の問題解決に向けた自立活動の展開
- (2) 進路支援
 - 社会的・職業的自立を目指した進路指導を推進
- (3) 交流及び共同学習
 - 同世代の高校生との交流及び共同学習の充実
- (4) 保護者との連携
 - 個別の移行支援計画を基に進路実現に向けた保護者の連携・強化
- (5) 地域・福祉
 - 医療・福祉、地域、労働機関との連携

3 主な年間行事と学習の様子

高等部は、自立と社会参加を目指し、学習している。教科学習や校内実習、産業現場等実習、福祉サービス体験などを通じて、希望する進路の実現に必要な力を身に付けることができるように取り組んでいる。

～ 年間行事 ～

- 生徒会活動（対面式、生徒総会、生徒会役員選挙、予餞会等）
- 校内実習、産業現場等実習、福祉サービス体験 ○校外学習、修学旅行 ○先輩と語る会
- 高等学校交流



「実習」

進路の実現に向けて、実際に校外での「働く」体験や「生活する」体験をすることで、社会生活に必要な力について考える機会として取り組んでいます。



「校外学習」

学年やグループごとに進路につながる施設見学や社会体験活動を通じて、実践と学習をつなげ、学習を深めています。

(4) 医大訪問部

1 目標

- (1) 小・中各学部目標に準ずる。
- (2) 家庭・関係機関と連携し、体調に配慮しながら、個に応じた指導にあたる。

2 医大訪問部が大切にしている取り組み

- (1) 医大小児科病棟等訪問教育(訪問あおぞら)
 - ア 健康回復・改善に努め、病気や困難に負けず希望をもち明るく生活する心を育てる。
 - イ 児童生徒の実態に応じた、基礎的・基本的な学力の定着と向上を図る。
 - ウ 関係機関(保護者・岩手医科大学附属病院・居住地校等)と連携し、一貫性のある支援に努める。
 - エ 体調に配慮しながら適切な学習環境を整え、教育効果の向上を図る。
- (2) 医大子どものこころ病棟訪問教育(訪問てんくう)
 - ア 学ぶ喜びを知ることを通して、学習経験の拡大を図る。
 - イ 教師との関わりを通して、コミュニケーション能力の向上を図る。
 - ウ 関係機関(保護者・岩手医科大学附属病院・原籍校・前籍校等)と連携し、一貫性のある支援に努める。
 - エ 個々の治療状況や心身の状況に配慮しながら適切な学習環境を整え、教育効果の向上を図る。

3 主な年間行事と学習の様子

岩手医科大学附属病院小児科・児童精神科に入院している児童生徒(小・中学生)を対象に、病院内の学習室で学習を行う。体調や心身の状況に応じて学習している。

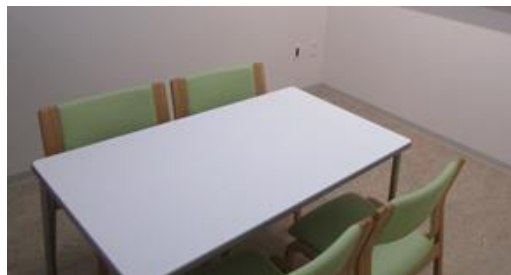
～ 年間行事 ～

- 医大学習室での儀式行事 ○病棟行事 ○校外学習(訪問あおぞら)
- NSによる訪問授業(訪問あおぞら)



小児科病棟訪問教育(訪問あおぞら)

学習室内、病棟での教科学習のほか、校外学習も実施しています。また、小児科病棟が主催する四季折々の行事にも参加しています。



児童精神科訪問教育(訪問てんくう)

医師と相談し、児童生徒の体調に配慮した時間割を組み、個別学習を実施しています。